

間伐材を活用したログハウス、工事中 看板、型枠・外壁材等の商品販売

株式会社田村組（徳島県美馬市）

No.02-37-02 / 0193

田村組は山間部の土木工事を主に行っている会社であるが、平成9年に4代目として就任した笠井善雄新社長は同社の懸案事項であった間伐材を活用した新事業を立ち上げた。間伐材活用製品としては、コンクリート用型枠、看板、ユニットハウス、ログハウスなどが開発され、木魚屋ブランドとして主にインターネット通販「楽天市場」を通じて販売されている。デザインや価格でいかに競争力をつけるかが大きな課題である。

1 取組の概要

背景・きっかけ

同社は10ha程度の山林を保有し、固有の問題として間伐材のリサイクルを考えていた。間伐材は、15年程前は1m³当たり20,000円程度で取引することができたが、最近では1m³当たり7,000円程度でしか引き取ってもらえず、間伐材の収集費用がそれ以上にかかり、間伐材を収集することもできない状況であった。周辺の手も同様な事情を抱え、山は間伐材が放置され荒廃した状態が続いていた。山林環境保全の点から、間伐材に付加価値をつけたリサイクル製品の開発をしなければならないと思っていた。

間伐材の製品化で苦心した点は、工事中看板等のデザインと、リサイクル製品の製造コストをいかに低減させるかななどである。



自然との共生を考える同社HP

取組の概要

田村組がある徳島県美馬市木屋平は、日本でも10指に数えられる水質を誇る穴吹川流域の美しい自然の懐で、林業が盛んに営まれている。間伐を行う時期や、工事などで山林の整備を行う際に多くの木材が切り出される。

これらは自然林の無益な開発で伐採されたものではなく、植林事業の中で育てられ、伐採された林業の副産物である。この間伐材は大きさも太さもふぞろいで建材としては利用できないものが多く、木炭やチップになるのがほとんどであるが、その前に一つの商品として開発すれば、もっと有効利用できるのではと間伐材活用の事業化を考えた。

同社は、自ら営んでいる土木建設の分野での利用方法に着目し、平成14年夏、間伐材を利用した第1号の商品として工事中看板や工事事務所を製作した。経験が蓄積されている土木建設の分野での利用方法に着目し、平成14年夏、間伐材を利用した第1号の商品として工事中看板や工事事務所を製作した。現在、製作している間伐材のリサイクル製品は以下のとおりである。

1. コンクリート用型枠各種・擁壁用間伐型枠・堰堤本提用型枠・化粧基礎型枠
2. 看板類・工事中看板類各種・注文生産看板類
3. トイレ・移動式簡易トイレ・固定式トイレ(バイオトイレ検討中)
4. 仮設ユニットハウス・移動式ユニットハウス・固定式ユニットハウス・バス待合所
5. ログハウス
6. 家具用品、遊具、運動具



看板 出所: 楽天市場

ログハウス 出所: 楽天市場

ログハウス需要は民間、木製看板は公共7割、民間3割、型枠材は公共が顧客である。周辺地域において、他にはない製品を開発することを試みている。

実施体制

平成9年に4代目社長として後を継いだ笠井善雄社長が中心となり間伐材活用事業を推進している。

同社には林業関係者がおり、兼業で椎茸の栽培、山の手入れを行っている技術者がおり、彼らが本事業を担当している。

間伐材の量を確保するため周辺の山林保有者との連携に努めた。

製造と販売を一本化するために新会社である木魚屋を設立し、ブランド確立に努めている。インターネット販売業者との連携が課題であったが、楽天市場への参加が実現し、そこで間伐材利用製品が販売されている。



間伐材の加工
出所: 楽天市場

2 ここ2年間の状況

販売方法は、民間対象としては地域のイベントでの展示販売等であり、公共には訪問による提案営業である。事業を開始した当初の売上は700万円程度で利益はでていないが、必要設備がそろったことと、型枠材の販売を行うことで、平成15年度は、黒字になり、平成16年度は売上3,000万円、利益200万円の実績を達成した。

木魚屋は間伐材製品だけでなく、清流で養殖したあめごや緑茶も販売している。

3 取組の成果、本業への影響

同社のこれまでの事業は、建設工事の受注 施工といわゆる自己完結型であったが、リサイクル製品の販売は、一般に広く普及させるため外に向かってPRする必要があり、このため社員の意識が変わり、現場がきれいになるなどクオリティが上がってきた。

存置型枠については徳島県で砂防ダム工事に国交省と県が採用、周囲の風景に溶け込み自然と調和した仕上がりが好評であった。

4 現在の課題と今後の展望

新商品の開発が当面の課題である。デザイン面で優れ、市場ニーズのあるリサイクル商品を開発するため、現在、家具のデザイナーと連携して指圧効果をもつ杉のベッドを構想中である。また、間伐材の脱臭効果を活かす商品開発も検討中である。

また、ログハウスは米国、カナダのものに比べると割高であるなど、製造原価の低減も重要な課題である。

◀

リフォーム・リニューアル

環境分野

農林水産業

福祉・介護

その他

事業者プロフィール

会社概要

| | |
|----------|----------------------|
| 会社名(団体名) | 株式会社田村組 |
| 代表者名 | 代表取締役社長 笠井 善雄(39才) |
| 所在地 | 徳島県美馬市 |
| 会社創業時期 | 昭和37年 |
| 業種 | 総合工事業(土木、建築) |
| 主要受注先 | 都道府県及びその機関 |
| 建設業許可番号 | 建設業許可番号:徳島県知事 第1722号 |
| 役職員数 | 48人(うち建設業従事 約48人) |
| 資本金額 | 50百万円 |
| 直近年度の売上高 | 800百万円(平成16年度) |

新分野・新市場への取組又は先進的な取組の概要

| | |
|----------|-----------------|
| 取組分野 | 環境分野(リサイクル) |
| 取組の種類 | 新製品の開発 |
| 事業の段階 | 事業化段階(既に展開している) |
| 取組体制 | 自社単独(子会社) 提携 |
| 工業所有権の有無 | 特許権取得(申請中) |

問い合わせ先

| | |
|-----------|-------------------------|
| 会社名(団体名) | 株式会社田村組 |
| 担当者氏名(役職) | 笠井 善雄(代表取締役) |
| 所在地 | 徳島県美馬市 |
| 電話 | 0883-68-2216 |
| eメール | kasai@tamtec.co.jp |
| URL | http://www.tamtec.co.jp |

平成17年8月19日現在